

「変革する中小企業のナビゲーター 中小企業診断士」

# 診断かがわ

2018年      新年号      NO. 70号

(2018年1月10日発行)

**[主要目次]**

- ◆ 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・ 1
- ◆ 理論政策更新研修・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 中小企業の知財戦略セミナー・・・・ 3
- ◆ 四国ブロック会議・・・・・・・・・・ 4
- ◆ スキルアップ研修・・・・・・・・・・ 5
- ◆ かがわ産業マッチングフェア・・・・ 6
- ◆ 会員だより（岩間会員）・・・・・・ 7
- ◆ 会員だより（佐竹会員）・・・・・・ 8
- ◆ 新入会員自己紹介（宇野会員）・・・・ 9
- ◆ 新入会員自己紹介（北濱会員）・・・・ 10
- ◆ 県協会フェイスブックページ・・・・ 11



中小企業の知財戦略セミナー  
(2017年10月14日)

**一般社団法人 香川県中小企業診断士協会**

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-814-6456    FAX 087-840-0321

ホームページ <http://www.shindan-kagawa.org>

メールアドレス [mail8@shindan-kagawa.org](mailto:mail8@shindan-kagawa.org)

発行人	会長	山下 益明
編集人	広報企画事業部	梅澤 秀樹
〃	〃	立川 敦史
〃	〃	溝淵 善彦
〃	〃	森 昭博



## 新年のごあいさつ

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会長 山下 益明

新年あけましておめでとうございます。平素は協会活動に多大なるご理解ご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

さて当協会の2017年を振り返りますと、2016年に引き続き診断士仲間が多数ご入会された年となりました。2015年12月1日時点の会員数は44名、2017年12月1日時点で62名。この2年間で実に18名も増えました。地方経済の活性化が大きな課題となっている昨今、企業の経営改善を支援する会員診断士の増加は嬉しい限りです。

先日、日本経済の見通しについて民間調査機関の予測が発表されました。「2017年度は、世界経済の堅調さを受けての輸出の増加に加え、企業収益の好調さを背景とした設備投資の増加傾向が続いていることから、2018年度もゆるやかな景気回復が続く」とのことです。しかし、このような日本経済の中心部から発せられる「景気回復」の予測が、あたかも日本全体、地方経済の現状も反映されたものであると考えるのは、大きな間違いです。

実際のところ、会員の皆さまのご支援先企業、企業内診断士の方は所属している組織は、「景気回復」の恩恵を受けていますか？

地方にある中堅・中小企業の経営改善は、地方活性化に直結するものであり、その中小企業支援の役割を担うのが、会員の皆さまの使命だと考えます。

以前よりお伝えしておりますが、経営コンサルタントの本質は、「周りから必要とされ、役に立ち、認められることで、世の中を良くする!」と認識しております。当協会には、「成長し続ける本物の経営コンサルタントを目指そう!」をスローガンに、「お客さまへのお役立ち度を高めることに焦点を絞るプロコンづくり」に真剣に取り組んでいます。

本物の経営コンサルタントとして必要な「人間力」「商品力」「営業力」を高める機会(研修・セミナー等)を数多くご提供することで、本年も皆さまのお役に立つとともに、当協会の存在意義を高めていきたいと存じます。

そしてご活躍の際は、「診断士バッジ」の着用をお忘れなく。香川県協会の会員の皆さまへは、無料貸与しておりますので、ご支援される際はバッジ着用にてPRいただきたいと存じます。中小企業診断士ブランドのなおいっそうの浸透に、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また先輩会員の皆さまへ、お願いがあります。新しい方も含めた会員同士の交流を深めるためにも、協会行事へ積極的にご参加いただきたいと存じます。当協会からの各種ご案内については、なるべく早めに「ご返信」くださいますようお願いいたします。

会員同士のコミュニケーション・情報交換が、現在の協会全体の活性化にもつながっておりますこと、心より御礼申し上げます。引き続き、会員の皆さま方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆さま方のますますのご健勝とさらなるご活躍を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。



## 2017年度「理論政策更新研修」ご報告

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 三谷 利恵

2017年度の「理論政策更新研修」は、9月9日(土)サンポートホール高松 61 会議室で開催されました。2017年に登録したばかりの私は、初めての参加となりました。せっかくの交流の場ですので、両隣の先生と名刺交換させていただきました。どちらの先生も、岡山の金融機関勤務の企業内診断士の方でした。中小企業診断士の更新要件の研修ですので、日程の関係や、研修内容で、他県の先生も受講されることを実感しました。

今回の研修は2部構成で、第1部は四国経済産業局中小企業課長 千谷敦則氏から「新しい中小企業政策」について、第2部は、KUBO経営コンサルティング事務所 代表 久保正英氏から「記号消費を活用した飲食店の応援されるコンセプトストア開発の事例 ～応援消費誘発型のストアコンセプト設定とその具現化」について、お話いただきました。

第1部では、中小企業診断士1次試験対策で必須となる中小企業白書の概要をうかがい、懐かしさとともに、改めて白書をきちんと読み込み、中小企業の今後の動向を考えてみたいと感じました。また、千谷氏のご提示くださった「展示会出展にもトラブルの落とし穴」は、非常に参考になる資料で、企業がPRする際のリスクについて勉強になりました。

第2部の講義は、研修申し込みの時点から「記号消費」という私にとって聞きなれないキーワードが興味深く、楽しみにしていました。講義も非常に面白く、ストアコンセプトの抽出は実践的で、実際の企業でも使ってみたいと感じました。また講師の久保氏は、研修の講義に留まらず、積極的にお話する機会を持ってくださいました。研修後の懇親会では、有志とともに、締めのカレーうどんまでご一緒しました。中小企業支援、事業者、一般社団法人の代表理事というバランスをうまくとられている先生のファンになってしまい、著書も購入してしまいました。

今回の研修は、講義とともに、同じ診断士の諸先輩方と交流できる機会としても、非常に有意義なものでした。



千谷氏のお話に関心をもち、話を聴く参加者



熱の入った久保正英氏の講義

**事例で身近に学ぶ！「中小企業の知財戦略セミナー」ご報告**

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
事務局 八木 知英子

新たな事業に取り組みたいと考えている方、特許権など知的財産権についての情報を得たい方、経営課題解決のヒントを得たい方…等を主な対象とした「事例で身近に学ぶ！中小企業の知財戦略セミナー」が2017年10月14日に開催されました。日本弁理士会四国支部・日本政策金融公庫四国内6支店・中小企業診断士協会四国4県の共同企画です。

弁理士会・金融公庫・診断士協会の3者は、中小企業等の抱える問題の総合的な解決方法を提案できる態勢づくりの一環として、2015年に協定を結んでいます。このセミナーは3者が連携し、四国4県で毎年開催地を持ち回りするというルールで運営されています。

昨年の開催地は愛媛県、そして今年は香川県…ということで、会場となったサンポートホール高松の会議室に約40名が集まりました。セミナーは2部構成でした。

◆第1部・・・お二人の経営者による事例発表

①有限会社翼石材(高松市庵治町、意匠登録を取得)代表取締役の青木氏による「お墓と知的財産権」についてのお話。当社は、墓石等の企画・制作・販売をしている会社です。古くから伝わる石造美術の概念や意匠を継承し、さらに洗練された創造性を加えて新しい正統の塔型づくりに挑戦しています。創作した塔型の意匠登録の際の予期せぬ障害・ご苦勞などのエピソードもあり、取得予定の方たちへ注意を促す内容が盛り込まれていました。

②株式会社ADSムラカミ(高松市林町、特許・実用新案を取得)代表取締役の村上康裕氏による「新水圧技術:アクア ドラブ システム」に関するお話。当社は、新水圧技術を開発し、福祉・介護・障がい者施設向け入浴装置等の市場展開に取り組んでいます。新技術の特許取得による製品の信頼性向上、品質保証、競合他社との差別化など、知的財産権が関係する事業の展開において、特許の担う役割・有効性等の理解が深まるご講話でした。

◆第2部・・・パネルディスカッション「知財を経営に活かす!!」

コーディネーター山崎理事と、パネリスト6名が登壇。山崎理事の軽快な進行により、事例企業(青木氏、村上氏)、弁理士(山内康伸氏、中井博氏)、中小企業診断士(川上理事)、日本政策金融公庫(佐藤公昭氏)が、これまでの経験も踏まえた実践的な知財戦略について意見を交わしました。

今後も中小企業の経営課題解決へ向け、弁理士会・金融公庫・診断士協会がなおいっそう支援の連携を強めていけたらよいな…との思いを再確認できたセミナーでした。



お二人の経営者による事例発表



パネルディスカッションの様子

**2017年度「四国ブロック会議」 in 香川**

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
事務局 八木 知英子

2017年度「四国ブロック会議」が10月20日(金)に開催されました。ブロック会議とは、全国を8つのブロック(北海道・東北、北関東・信越、南関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄)に分け、隣接する県協会相互間における活動の情報交換を行うこと等を主な目的とする会議です。四国ブロックは四国4県で開催地を持ち回っており、今年は香川県の担当でした。

東京本部からは福田会長、野口専務理事、業務部の檜崎様の3名、愛媛県より上田会長、山本事務局長の2名、高知県より横山会長、森永専務理事の2名、徳島県より日出副会長、平井副会長の2名、そして香川県からは山下会長と山崎理事の2名およびオブザーバー中村かおり会員が出席されました。

本部報告として、中小企業・小規模事業者関係概算要求等の概要について、行政手続コストの削減について(中小企業診断士制度関係)、会費制度等の検討について説明がありました。その後、各県協会活動状況報告があり、情報交換・意見交流が盛んに行われました。

四国4県の参加者が、さらに交流を深めることのできた会議でした。



**四国ブロック会議 出席者**



**経営コンサルタント養成講座・スキルアップ研修  
に参加しました！**

一般社団法人 栃木県中小企業診断士会 理事  
オンナヂカラ・コンサルティング 代表 小高 記美子

「プロコンは、年間売上高 3,000 万円が普通レベル」

この話を耳にしたのは昨年 4 月、千葉県中小企業診断士協会「診断士まつり」でした。小島先生のご講演で、「香川県の診断士はすごい！」と衝撃を受けました。その地でスキルアップ研修会があると知り、迷わず参加を決めました。

私は現在 42 歳、税理士事務所勤務 20 年目です。中小企業診断士登録をした 2009 年から、公的な仕事を時々していました。2 年前に個人で開業し、民間の仕事も始めたのですが、企業内診断士という甘え(時間がない等)もあり、なかなか次の段階へ進めません。「自分の将来・事業のための 3 日間」との決意で今回参加しました。

香川県を訪れ、やはり凄いと実感！山下先生、岩倉先生、小島先生、山崎先生…講師の先生方皆が、当たり前のように稼ぐ話をしてくださいませ。開業してからの売上高推移、仕事のスタイル、失敗談、すべて貴重なお話です。自分自身の稼ぎ方を設計する際、本当に参考になりました。

香川県で既に稼いでいらっしゃるプロコンの先輩も受講者として参加され、グループワークや食事の場でお話できたことも感激でした。信念を持ち自らの言葉で語る先輩の姿を近くで見て、目標ができました。また、さまざまな経験をお持ちで、個性あふれる参加者の意見から、本当にたくさんの気づきを得られました。「パラダイムシフト」が自分の身に起き、最終日には「2022 年に売上高 3,000 万円を達成する」と宣言するに至りました。

あれから 1 ヶ月。その後の経過を報告させてください。

①現段階での顧問契約は 10 万円からと設定。状況の厳しい顧客には出世払を提示、快諾いただきました。

②顧客とすべき対象を決め、断る勇気を持ちました。

③2018 年、税理士事務所を退職します。仕事以外の計画もあり、早急に退職が必要と判断しました。

自立する、稼ぐということは何か。コンサルタントとは何か。自分の志と向き合う貴重な 3 日間をありがとうございました。そしてこれからも、よろしく願いいたします。



**参加者の集合写真**



## 「かがわ産業マッチングフェア」ご報告

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 山下 晶子

2017年11月22日(水)サンメッセ香川・小展示場にて、「かがわ産業マッチングフェア」が開催されました。このイベントは、高松商工会議所・香川県商工会連合会主催で開催されたもので、県下の商工会議所・商工会の会員企業70社がブースを設け、地域資源や地場産業を活かして開発された商品を出展し、全国のバイヤーに売り込むイベントです。

主催者にかがったところ、年1回開催されており、今年は10回目になるそうで、例年の倍の規模での開催とのこと。全国からバイヤー40社が訪れ、皆さま熱心に商品を見て回っていました。

建具屋さんがつくる組木細工のアクセサリや照明器具、オリーブの葉で染めた帆布を用いたバッグ、海外で人気のミニ盆栽、特産品を使った加工食品…など、多種多様な商品が出展されていました。どれも素晴らしい製品なのですが、一企業だけで販路開拓を行うことは厳しいため、このような機会を利用されているとのこと。直接バイヤーさんとお話することで、市場ニーズを把握できるメリットもあると思いました。

香川県中小企業診断士協会もブースを構え、セミナーや無料診断、診断士の方々の執筆記事などのチラシを置かせていただきました。出展企業の方は、商談に忙しく、ブースに来られることは少ないのですが、金融機関や支援機関の方々が立ち寄りくださり診断士の方々の執筆原稿に興味を持っていただき、お持ち帰りくださいました。

次の機会には、中小企業の方々に中小企業診断士の活用方法をもっと知って貰えるような取り組みが必要ではないかと感じました。



例年の倍の規模で開催されました



香川県中小企業診断士協会のブース



**会員だより ～ 福岡より ～**

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 岩間 隆資  
(アサヒビール株式会社)

拝啓 皆さま、あけましておめでとうございます。アサヒビールの岩間と申します。この度、「会員だより」の執筆をご依頼いただきましたので、自己紹介と近況報告をさせていただきます。

私は、アサヒビール株式会社四国統括本部に2012年から4年間勤務をし、現在は九州統括本部(福岡市)に転任しています。香川県協会では、研修・交流会への参加、弊社四国工場の見学会、歩き遍路の体験をもとにした講演や記事の執筆など、たいへんありがたい機会をいただきました。この場をお借りし、山下会長はじめ協会の先生方に心より感謝申しあげます。そのような経緯もあって、私にとって香川・四国はとても思い入れの深い場所となっています。

今、プライベートで妻と一緒に取り組んでいることは、九州全7県の霊場巡りです。四国で火がついた歩き遍路を九州でも、ということで、これまでに、福岡篠栗、長崎壱岐、宮崎宮野浦、佐賀有田と、4つの八十八ヶ所を結願しました。本家四国とは規模やお遍路さんを取り巻く環境もまったく異なるのですが、それぞれその土地ならではの風情・味わい・特長があり、新鮮な気持ちで楽しく歩けています。これもお大師様のおかげと感謝しています。

今後は、大分国東六郷満山、熊本天草、鹿児島串木野冠獄へと歩を進めてまいります。

「お遍路」の魅力は、個人の信仰・趣味・観光・体力づくりだけではなく、その地域の特長や産業、行政やコミュニティのあり方などを肌で実感できるフィールドワークとして、知見の幅を広げてくれる点にもあります。

たとえば陶磁器で有名な佐賀有田、歩く先々で見かける窯元の数は八十八ヶ所の札所数を優に超えます。見学可能な窯で伝統技術や歴史を学ぶこともでき、産業としての有田焼の今後に思いを馳せることができます。

大分国東六郷満山では、一番札所宇佐神宮のある宇佐市で「今年ゲストハウスを開業した」という青年と知り合う機会に恵まれました。ゲストハウスのFacebookページでは、開業に至るプロセスや地域の方々からの開業支援、海外からのお客さまとの交流の様子などを知ることができます。

将来もし再び、四国に関わることができた暁には、各地で積んだ「お遍路フィールドワーク」を、四国遍路を通じた地域の活性化に活かしていきたいと考えています。厚かましいお願いではございますが、その節は先生方、再びご指導ご鞭撻たまわりますよう何とぞよろしくお願い申しあげます。

厳しい寒さが続きますので、皆さま、ぜひお身体ご自愛ください。それでは。

敬具



**会員だより ～ アドラー心理学って？ ～**

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 佐竹 孝三

心理学とは無縁の世界に生きていた自分が何気なく「NHK 100分de名著：アドラー 人生の意味の心理学(岸見一郎先生)」という番組を見たのが3年前。この時、大きなショックを受けたのです。

人生の考え方、人間関係の在り方、子どもの教育、家族との接し方、今まで生きてきた私の人生と、あまりにもかけ離れているではないか、私は酷い生き方をしていたなと思ったのです。気に食わなければすぐ怒る、結果が悪いと他人のせいにする、子どもに対しては叱るばかり、女房に対しては傲慢な態度、その類には枚挙に暇がないくらいで、考え込んでしまいました。

しかし、この番組の中でいっていたのは、「人間は過去の出来事や環境に囚われるのではなく、未来に向けて、自分を変えることができる」というものでした。

少し勉強してみようと思い、アドラー関連本を読み始め、その面白さと考え方に引き込まれました。アドラーは実践の心理学ともいわれています。本だけではなく直に話が聞きたくなり、岩井俊憲先生が代表をされている、ヒューマンギルドの心理学カウンセラー養成講座等を受講しました。

このアドラー心理学の講座を受けている人たちは、幼稚園や学校の先生、起業を目指している人、心理学を勉強している学生、主婦、会社員など職業はさまざま。7～8割が女性で、一様に皆さん大変積極的で前向き、輝いておりました。その中で、唯一のお爺さんが私。何か場違いのように感じたのですが、岩井先生を始め多くの受講した仲間から気力(勇気づけ：モチベーション)をもらい、アドラー心理学の勉強がなんとかできた次第です。この勉強が中小企業の皆様に、少しでもお役に立てればと思い、今でも勉強を続けています。

ではアドラー心理学の要点とは何か。私の感覚でいえば、大きく次の5点ほどにまとめられます。

1. 自分を主人公にする(自己決定性)……人間は、環境や過去の出来事を理由にして、それに束縛されるのではなく、自ら運命を創造する力がある。
2. 人生の意味は貢献、他者への関心、協力である(共同体感覚)……人間は一人だけでは生きていけない。自分の関心や損得だけにしか目を向けず、相手の立場・視点に立って物事を考え、他者に貢献することである。
3. 人間の行動には目的がある(目的論)……人間は過去の原因によって後ろから押されているのではなく、自ら未来に目標を設定し、主体的に追求していく。全ての人間の行動には目的があり、行動の目的は無意識的なものが多い。
4. 誰もが自分だけのメガネを通してものを見て感じている(認知論)……人間は、自分流の主観的な意味づけ(ライフスタイル：一般には性格・そのひと個人の世の中の見方・考え方)を通して物事を把握する。
5. すべての行動には相手役がいる(対人関係論)……人間のあらゆる行動は、相手役が存在する対人関係である。

上記の説明では理解しづらいし、いや違う、そんなものではないと思われる方もいるのではないかと思います。しかしアドラー心理学を勉強すればするほど、自分や他人の行動から見えてくるものがあり、大変奥深いものがあります。心理学に興味のある方は、アドラー心理学でも他の心理学でも良いですから、一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

あなたの人生の風景が変わるかもしれません。



## 新入会員自己紹介

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 宇野 顕吉

はじめまして。2017年12月より香川県中小診断士協会に入会させていただきました宇野顕吉と申します。大学卒業後、事業会社勤務で九州・関東を経て、徳島へ転勤になり現在は徳島県に住んでおります。徳島に転勤になるまでの仕事は、一貫して食品関係の会社で営業職を務めておりました。現在は内部監査部門で主に業務監査の仕事をしています。

私が診断士を目指した理由は2つあります。

1つ目は、営業職時代に有機食品を取り扱う小売店を担当していたころのことです。有機食品は環境にもやさしく、食べれば美味しいのですが、販売店は苦戦して廃業するお店がたくさんありました。そんな小売店の力になりたいと思いました。

2つ目は、何か世のため人のためになり一生続けられる仕事がしたいと思っていたことです。ちょうどその時期に診断士資格に出会って学習を始めました。

香川県協会に入会させていただいたきっかけをお話します。診断士の登録は2017年の4月でした。半年たった頃、同じ時期一緒に学んだ友人や、実務補習での同期たちからは「独立した」「こんな勉強会に参加している」などの声が聞こえてきます。私は何も動けておらず少し焦り始めていた時でした。

あるセミナーで「四国なら香川県協会の活動が活発だよ」と、ある診断士の先生からうかがい、早速連絡をさせていただいたのがきっかけです。先日、初めてスキルアップ研修に参加させていただき、諸先輩方との会話を通してたくさんの学びをいただきました。

今は内向きの仕事で、あまり学んだことを活かせていません。今後は、受験で学んだことや、協会の活動を通しての学んだことを活かし、クライアントの喜びが私の喜びになれるような診断士になっていきます。

ちょうど年も変わった1月のこの時期、1年間の期限を設けて、稼げる診断士として一歩を踏み出していきます。

今後とも諸先輩方のご指導とご鞭撻をたまわりますようお願いいたします。



## 新入会員自己紹介

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会  
会員 北濱 慶

はじめまして、2017年12月より香川県中小企業診断士協会に入会させていただきました、北濱慶と申します。実家は坂出で、高松工業高専を卒業後、高松の情報通信会社に29年間勤務。システムエンジニアとして高松で電力系システム開発・保守を行ったり、仙台・小牧・東京など転勤しつつ上場企業のERP導入支援をしてきましたが、2017年7月に退職・独立しました。専門としてはIT系ではありますが、事業承継、事業再生の需要や重要性はいろいろなところで耳にしており、現在勉強中です。現住所は東京ですが、月1ペースで東京～香川を往復しています。

中小企業診断士を目指したきっかけは2つあります。

1つ目は、ERP導入支援をしていくなかで「もっと会社の仕組みについて、全体を通して知りたい」と感じていたところ、中小企業診断士という資格を知ったことでした。当初は「教育訓練給付制度を使えば16万円程度で1年近くいろいろな講義を受けられる！」と知識吸収が主目的で、試験を受ける気はほとんどありませんでした。ところが勉強を始め、診断士の位置づけや重要性、やりがいを知るにつれ「診断士資格を取りたい」という気持ちが強くなり、結局3年かけての資格取得となりました。

2つ目は…昔、地元、坂出商店街の衰退を前に「何もできなかつた」と感じていた気持ちを思い出したことでした。20代は坂出市の青年団に所属し、坂出市役所や商工会議所と一緒に生涯教育や街おこしに関わっていましたが、廃業する店は年々増え、その流れは少しも止めることができませんでした。子どもの頃の光景、商店街に活気があり、夏の「土曜デー」では、商店街全体に人が溢れ歩くのに苦勞するほど、というのを思い出すたび寂しく悲しい気持ちになります。

香川県中小企業診断士協会に入会したきっかけは、東京の研究会で知り合った中村かおり会員が山下会長を紹介してくださったことでした。その流れで11月のスキルアップ研修にも参加させていただきましたが、その内容が「衝撃」でした。そこには講師陣四者四様の道で経営者に参謀として頼りにされ高額報酬を受けるも、それを上回る価値を提供し続けるという理想の形がありました。当初、「スター的な診断士の先生はいるらしいけれども、それは別世界の話」ととらえていたものが、「今の道の向こうに、つながっている」という感覚も持てました。

先輩の診断士の皆さんと同じように、経営者から頼りにされ感謝される診断士を目指し、がんばっていきたいと思います。よろしく願いいたします。

**香川県協会フェイスブックページをご存じですか？**

香川県協会の公式フェイスブックページは、もうチェックされましたか？  
県協会事業のご案内やご報告、会員の活動などについて記事を掲載しています。  
ぜひ、「いいね」（登録）および「シェア」（拡散）をお願いします。  
下記は 2017 年度「後継経営者養成講座」を紹介した記事です。



診断かがわ第70号(新年号)

2018年1月10日発行

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-814-6456 FAX 087-840-0321

ホームページ <http://www.shindan-kagawa.org/>

メールアドレス [mail8@shindan-kagawa.org](mailto:mail8@shindan-kagawa.org)

発行人 会長

山下 益明

編集人 広報企画事業部

梅澤 秀樹

“ ”

立川 敦史

“ ”

溝渕 善彦

“ ”

森 昭博